奈良工業高等専門学校	開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	体育理論Ⅰ

科目基礎情報

科目番号	0041	科目区分	一般 / 必修
授業形態	講義	単位の種別と単位数	学修単位: 2
開設学科	電子制御工学科	対象学年	3
開設期	後期	週時間数	2
教科書/教材	「保健体育概論改訂増補版」晃洋書房　近畿地区高専体育研究会		
担当教員	森 弘暢		

到達目標

各種の運動技術やスポーツに関する基礎的な技能及び知識を身につけ、運動に親しむ態度を養う。また、体育理論を知り、健康的な生活を送るための方法を追求できるようにする。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1 実技課題への取組	意欲的に運動に取り組み、興味関心を高めることができた。	意欲的に運動に取り組むことができた。	運動への取り組みが消極的であった。
評価項目2 講義課題への取組	運動技能と健康に関する知識を高めることができ、それを実践することができた。	運動技能と健康に関する知識を高めることができた。	運動技能と健康に関する知識の向上がみられなかった。
評価項目3 レポート	スポーツに対する独自の見解が持てる。	スポーツの歴史的・文化的背景を理解できる。	スポーツの文化的意義を理解していない。

学科の到達目標項目との関係

準学士課程（本科１～５年）学習教育目標 （２）

教育方法等

概要	自らの体力を高め、運動を楽しむ態度を育てるために、各種の運動を実践するとともに、競技ごとの技術やルール、社会性、健康に関する知識を学ぶ。
授業の進め方・方法	講義項目の実施順序は記載どおりとは限らない。天候等の理由により、適宜変更する可能性があるため、各クラスの体育委員が毎回集合場所や準備物に関する連絡係の役目を果たしてほしい。定期試験は行わない。各時間における課題への取り組みとその積み重ねを重視する。
注意点	関連科目 　体育理論Ⅱ 学習指針 　講義に加え、各種の運動実践を中心とした実技指導も行うため、日頃から健康の保持増進のための実践と健康への知識を蓄積することが必要である。 自己学習 　文化としてのスポーツに対する関心を高め、それらに関する情報収集を主体的に行っていく必要がある。 事前学習 　あらかじめ授業で取り上げる学習及び運動種目の内容を「保健体育概論改訂増補版」ないしは「アクティブスポーツ【総合版】」を読んで大まかに理解しておく。 事後展開学習 　授業で学修した内容を振り返り、不明な点があれば、再度、「保健体育概論改訂増補版」や「アクティブスポーツ【総合版】」等で調べる。

学修単位の履修上の注意

自学自習の内容はレポートにより、評価する。

授業の属性・履修上の区分

□ アクティブラーニング	□ ICT 利用	□ 遠隔授業対応	□ 実務経験のある教員による授業

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
後期	3rdQ	1週	オリエンテーション	３年次での講義計画及び授業での取組方法を説明できる。
		2週	体力・運動能力調査	文部科学省が定める「新体力テスト」を実施し、自己の体力・運動能力を把握できる。
		3週	体力・運動能力調査	文部科学省が定める「新体力テスト」を実施し、自己の体力・運動能力を把握できる。
		4週	保健体育概論①	健康と食事、運動、休養の関係について説明できる。
		5週	保健体育概論②	心の健康とストレス対処について説明できる。
		6週	保健体育概論③	薬物乱用と健康について説明できる。
		7週	保健体育概論④	喫煙と健康について説明できる。
		8週	保健体育概論⑤	飲酒と健康について説明できる。
	4thQ	9週	運動実践① ソフトボール	これまでに習得した個々の技能と知識を活用してチームプレーとゲームができる。
		10週	運動実践② バレーボール	これまでに習得した個々の技能と知識を活用してチームプレーとゲームができる。
		11週	運動実践③ テニス	これまでに習得した個々の技能と知識を活用してチームプレーとゲームができる。
		12週	運動実践④ 卓球・バドミントン	これまでに習得した個々の技能と知識を活用してチームプレーとゲームができる。
		13週	運動実践⑤ サッカー	これまでに習得した個々の技能と知識を活用してチームプレーとゲームができる。
		14週	運動実践⑥ バスケットボール	これまでに習得した個々の技能と知識を活用してチームプレーとゲームができる。

		15週	運動実践⑦ 選択制	種目を選択し、クラスないしはグループで運動実践を行える。
		16週	体育理論レポート	レポートの執筆方法及びまとめ方について理解する。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週

評価割合

	授業課題	レポート	実践課題	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	20	20	0	0	0	100
基礎的能力	60	20	20	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0